

# 行政院國家科學委員會專題研究計畫 成果報告

## 有關日語思考、知覺動詞語法化現象之研究 研究成果報告(精簡版)

計畫類別：個別型  
計畫編號：NSC 97-2410-H-004-125-  
執行期間：97年08月01日至98年07月31日  
執行單位：國立政治大學日本語文學系

計畫主持人：蘇文郎

計畫參與人員：此計畫無其他參與人員

處理方式：本計畫可公開查詢

中華民國 98年10月28日

## (二)研究成果報告内容

### (1)前言(研究背景及目的)

本研究計畫主持人過去針對日語引用句進行了一系列的研究，並將研究成果分別發表二篇論文(①「蘇(1997)」②「蘇(2005)」)，探討的重點主要就引用動詞的語義特徵及其所要求的補語(primary complement)的數量、種類為依據，將引用句做如下次類劃分

- I X ガ+[ ]ト+發話思考動詞
- II X ガ+Y ニ+[ ]ト+傳達動詞
- III X ガ+Y ニ+[ ]ヨウ(ニ(ト))+命令・認知動詞
- IV X ニハ+[ ]ト/ク/ニ+(自發)思考・感覺・認知動詞
- V (~ガ(形容詞性動詞))テ+見エル/感ジラレル/聞コエル
- VI X ガ+Z ヲ+[ ]ト/ク/ニ+感情・知覺・評價動詞

並針對每種類型的句法結構、格關係、語法功能、語義特徵詳加分析闡釋，獲得相當具體豐富的成果。除了發現各種引用句在句法結構上具有相當的共通點亦即可用①「名詞+格助詞」②「形容詞ク」③「形容動詞ニ」④助動詞「ヨウニ」⑤副詞等形態來當引用節(引用句)的補語，另外亦發現引用句中表思考、判斷、知覺的動詞由原來具實質語義的動詞(content words)轉變為機能動詞(function words)的語法化(grammaticalization)現象非常普遍性存在。

1. 私はこの答えは間違っていると思う。(基)
2. 彼はこの発明が実用化されるとすばらしいことだと考えた。(基)
3. ふと見ると...辛そうに経を読む老尼が一人、ぽつねんと座っている。歳は四十ぐらいであると見えた。(『月に駆られて一元条御息所物語』杉本圭著 アルファポリス・星雲社 2004)
4. ホームページに書かれたことなどを「居場所」への侵入ととらえ、その怒りが事件につながったとする。(朝日 05.01.22)
5. 難民に対する社会的支援として大きな意味があるはずである。筆者の考えではあまり大きな難しさはないと見る。(『国際人権法と韓国の未来』朴燦運著 現代人文社 2004)
6. 今度の医者はとてもやさしい先生だと息子から聞いている。(基)
7. 社殿は真南に向かって立ち、棟は大きく、のきは高く、様式は古代神殿を模したものと見える。(『靖国神社と日本人』小堀桂一郎著 PHP 研究所 1998)
8. 夜中に雨が降ったとみえて、水たまりができています。(『日本語文型辞典』グループジャマシイ編著 くろしお 1998)
9. 今おかげでそのハスキーたちは、それぞれの飼い主のところで元気に暮らしていると聞く。(『愛犬幸福論』PHP研究所篇 2006)
10. 満州の殿は、もし織田同族が相争えば、それに乗じて、今川や斉藤が攻め入り、三河のようになりかねないと用心して、動かないと聞いて

いる。(『織田三代記：信秀、信長、信忠、天下取りへの道』羽生道英著 PHP研究所 2006)

11. 伝統文化に詳しい人は若い女性の浴衣姿に限らず、着物姿にしても、日本人食のマナーにしても、いいたいことはいっぱいあると思う。... 今の若い人たちには、これと同じ気持ち、態度で接してあげる必要があると思う。(『男の本懐』川北義則著 PHP研究所 2007)
12. 今までニコニコしていたかと思えば、突然泣き出したりして、本当によく気分の変わる人だ。(『日本語文型辞典』)
13. 今仮に3億円の宝くじがあなたに当たったとします。あなたはそれで何をしますか。(『日本語文型辞典』)
14. これだけ待っても来ないとすれば、もともと来る気がなかったんじゃないだろうか。(『日本語文型辞典』)
15. 法律のように外面的強制力を伴うものでなく、個人の内的原理である。今日では、自然や文化財や技術品など事物に対する人間のあるべき態度もこれに含まれるとされている。(『幼児・児童心理学』谷田貝公昭他編 一芸社 2001)
16. [寛政]六年には春庭は完全に失明したと思われる。(『日本語のシンタクスと意味 I』)
17. 異文化コミュニケーションの一つの特徴として文化の違う人々とコミュニケーションを図る際にステレオタイプ偏見、あるいは誤解が頻繁に起こると考えられている。(『多文化社会と異文化コミュニケーション』池田理知他著 2002)
18. だから人生は一場の夢とされていた。あるいは露のようにはかないものと思われていた。(『生き方の研究』森本哲郎著)

1.~6.句中的述語動詞皆具有實質語義的思考、知覺動詞。而 7.~18.句中的思考、知覺動詞在句法結構、語法功能與語義特徵已起了變化。7.表說話者藉由觀察到的狀況對某事加以推測敘述，9. 10.則在語義上轉化為和表傳聞的助動詞「そうだ」相同，13.表假定條件之設定。8. 12. 14.在語法功能上轉化帶有句子接續功能的接續助詞化。15.~18.說話者藉由將動詞改為「られる」形，具有避免給人太直接武斷判斷的印象，轉換為間接式委婉敘述的語氣。除此之外 7.~18.皆可觀察到在句法結構上發生了「格支配」的變異現象。

如上所述，對日語引用句要達到通盤的了解，除了要掌握核心主結構 (proposition) 的格支配和補語—述語的語義關係外，對情態部分(modality)及述語動詞語法化(虛詞化)的產生原理加以解明，其重要性自不待言。

最近語言學研究的課題之一即在解明人類語言普遍性存在的「語法化」現象，其研究成果也顯示出能語法化或機能用法的語詞大多屬於基礎常用的語彙，而「思う」「考える」「見る」「する」「聞く」「見える」等動詞在日語日常生活中很基本、頻繁使用的動詞，所以它們有基本語詞的特徵—具有語法化成機能用法

的潛能。

## (2)文獻探討

近年有關思考、認知、知覺、感情等動詞的研究，就研究的廣度與深度而言，非藤田(2000)、小野(2005)莫屬。

藤田(2000)針對各種類型的引用構文從統語論的觀點就其「意味-統語」(語義-句法結構)的特徵詳加探究，給日語引用表現的研究帶來頗多新發現與啓示。唯該論著對日語引用動詞語法化相關問題幾未觸及。

小野(2005)將日語裡的廣義的態度動詞分<直接知覺><間接知覺><認知><思考><感情>五種，並將所欲傳達的訊息設定為<事態、認知狀況、發話狀況>三種階層，探討說話者的內心態度與說話態度，以機能語用論的觀點進行分析，是近年少見的探討相關問題具整體性的論著。唯小野(2005)對態度動詞相關諸問題所注視的焦點與本計劃欲探討的思考、知覺動詞語法化的問題，方向頗為不同。

## (二)研究方法與步驟

### (1)採用的方法

本計劃針對述語動詞呈語法化、虛詞化現象的思考、知覺動詞分別依其文末結構分類為下列(i)(ii)類型

- (i) 引用節+思考動詞：思う/考える/する/見る
- (ii) 引用節+知覺動詞：聞く/見える
  - ①主動態：～と思う/考える/する/見る/聞く/見える
  - ②被動態：～と思われる/考えられる/見られる/される
  - ③其他：

(イ)	{	～と思うと/～と思えば
	{	～とすると/～とすれば
	{	～と見えて
(ロ)	{	と思うと
	{	とすると

並就其主動態和被動態之間的連續性導入格文法及認知語言學的觀點詳加剖析，並究明其語法化的原理。

### (2)採用的原因

筆者過去對有關日語引用句探討的主題皆以述語動詞的自他性及所要求的補語(必要成分)所構成的各種基本句式做次類劃分，並針對每種類型的句法結構、功能、語義特徵做詳細的剖析。然針對思考、知覺動詞的語法化及語義轉化現象雖在相關地方偶有提及，但都尚未有系統深入做整體性探討。因此希冀透過本研究，將上述思考、知覺動詞在句中所呈現的各種語法現象如テンス、アスペ

クト、態、肯定、否定是否對立及相互間連續性之原理加以闡釋，以達到能對相關構句通盤的了解與掌握。

### (3)研究成果

本計畫分別就引用動詞「言う」「思う」「する」和變化動詞「なる」及知覺動詞「見る」「見える」「聞く」「聞こえる」轉化為①連句功能的複合詞用法、②繫詞化的連體修飾用法、③情態助動詞化用法進行了研究闡釋，獲得具體的結論與成果，並已將研究成果發表於：

1. 「引用動詞と變化動詞の文法化現象をめぐって—「言う」「思う」「する」「なる」を例として」『政大日本研究 第6號』 2009年4月出刊

另外將第二個研究主題

2. 「知覺動詞「見る」「見える」「聞く」「聞こえる」がとる構文と意味用法の諸相」

投稿於『政大日本研究 第7號』。

### (4)研究成果自評

透過上述一系列之研究，對有語法化和無語法化的思考、知覺動詞之間的語義特徵和語法功能必能進一步加以闡明，另外對構成句子的兩大要素「命題」(proposition)和「情態」(modality)的關聯性、連續性亦能有更深一層的了解與掌握。這些成果對於日語相關語法研究的理論建立與應用應具有相當意義及價值。對台灣的日語文法研究及日語教學亦能多所貢獻。